

CO₂を約4.4万トン削減、節水でCO₂を削減し低炭素社会に貢献
洗浄水量6L以下の便器の出荷累計500万台突破！
～2011年にも「節水便器」普及率10%超えへ～

このたび(2010年1月末)、節水便器(洗浄水量が6L以下の便器)の累計出荷台数が、500万台を突破いたしました。

昨年5月に400万台を突破した節水便器ですが、以後わずか8か月で100万台以上を出荷し[300万台(市場の4.2%)から400万台(市場の5.6%)は9カ月]、市場普及率も7.0%を越えました。

現在、生産メーカー各社においても節水便器が主流となりつつあり、出荷全体に占める構成比は約6割となっています。

今回の500万台(市場の7.0%)突破によって、節水便器を使用しなかった場合と比較し、CO₂が年間で約4.4万t削減(63万tの7.0%)されることとなりますが、日本の便器すべてが節水便器(6L以下)に置き換わった場合は、1年で約10億6000万m³もの節水(東京ドーム854杯分)となり、CO₂も年間で約63万t削減されます。

日本衛生設備機器工業会では、2011年にも節水便器の普及率が10%を超えると予想しており、今後、節水便器の普及加速により、低炭素社会の実現に向けて大きく貢献していきます。

各社の代表的な節水便器

					
社名	アサヒ衛陶	INAX	ジャニス工業	TOTO	パナソニック電工
商品名	エディシリーズ	REGIO	イーフィットクリン	ネオレスト ハイブリッドシリーズ	アラウーノ

<本件に関する問合せ先>

日本衛生設備機器工業会 本部 担当: 福 浦
愛知県名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル2階 TEL:052-935-7944
日本衛生設備機器工業会 東京事務所 担当: 中 尾
東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5階 TEL:03-5206-5493

(1) 水洗便器の市場ストック個数

約7, 101万台

(2) 水洗便器使用人数

約11, 359万人

(3) 1日1人当たりのトイレで使う水量

6L超便器使用の場合:約57 L/日・人

6L以下便器使用の場合:約31. 5 L/日・人

(4) 年間削減水量

$11, 359万人 \times (57 - 31. 5)L/日 \cdot 人 \times 365日 = 1, 058, 374, 418 m^3$

(5) 年間CO₂削減量

$1, 058, 374, 418 m^3 \times 0. 59 = 624, 441 t/年$

* CO₂削減量(Kg) = 節水量m³ × 0. 59

※常緑樹に換算すると約4, 460万本/年相当

参考資料

住宅・土地統計調査(平成15年)

建物別ストック統計研究会報告書(2002年11月)

環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課「日本の廃棄物処理 H17年度版」

省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯住宅推進アプローチブック」

総務省統計局 統計データ「第2章 人口・世帯」(2005年度)

総務省統計局平成18年10月1日現在総人口

日本衛生設備機器工業会 加盟会社(五十音順)

アサヒ衛陶株式会社

株式会社INAX

株式会社九州INAX

ジャニス工業株式会社

TOTO 株式会社

TOTO サニテクノ株式会社

パナソニック電工株式会社

※国内における便器製造の全メーカーが加入